
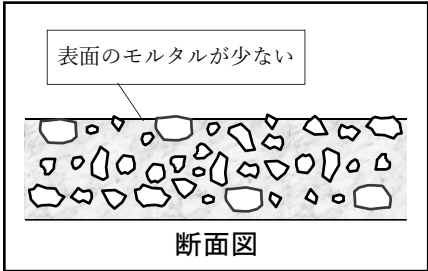

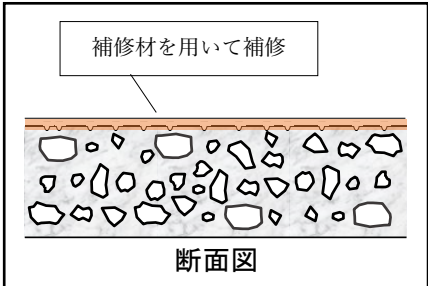


発生箇所	③コンクリート版表面
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(13)表面仕上げ
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート版施工時に、コンクリート版の表面仕上げが不良となる個所が生じた。 	
	
<p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季のためコンクリートの硬化が早く、粗面仕上げが困難であった。 ・コンクリート表面のモルタル厚さが薄いため、粗面が形成できなかった。 	
 <p style="text-align: center;">断面図</p>	
<p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季施工時のコンクリート運搬によるスランプ低下を考慮し、現場到着時のスランプが適正になるように出荷する。 ・コンクリートの現場待機時間の短縮、配合の見直し、打設計画の見直しを行う。 ・仕上げまでの施工時間を短縮する。 ・コンクリートの締固め不足も考えられるため施工機械の確認・調整をする。 	
 <p style="text-align: center;">断面図</p>	
<p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート舗装用表面補修材等で補修する。このとき、ショットブラスト等で補修箇所をすべて除去し、十分な下地処理を行ったうえで再度補修を実施するとともに、コンクリート版との付着性に問題のない表面補修材を使用する。・すべり抵抗値の規格を満足しない場合は、ショットブラストやダイヤモンドグライディングを実施し、表面を粗面にし、すべり抵抗の規格を確保する。 	
 <p style="text-align: center;">断面図</p>	